

令和3年度の重点課題

○「新体カテスト」の結果から「握力」に課題がある。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 児童個々の目標を設定させ、体幹トレーニングの実施、及び、柔軟体操を継続して行う。
- 「握力コーナー」を校舎に設け、業前運動の一つとして取り組ませる。体育の授業の準備運動に柔軟体操をしたり、柔軟性を高めるゲームを取り入れたりする。
- 業前運動や体育の時間、休憩時間において体力向上に取り組むとともに、遊びの要素も取り入れる。

令和4年度新体カテストの結果（県平均値（平成30年度）・全国平均値（平成29年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	9.67	9.33	28.33	20.00	14.67	11.39	122.33	9.33	27.67	第1学年	9.63	13.13	31.38	20.25	11.13	12.31	107.63	4.88	36.75
第2学年	10.25	18.50	24.75	35.25	35.00	9.83	118.25	10.25	47.50	第2学年	9.00	13.88	29.50	30.38	17.38	11.24	107.13	7.75	44.88
第3学年	12.17	12.83	31.50	31.67	23.60	10.22	129.83	15.50	56.17	第3学年	13.00	15.75	36.25	33.00	30.50	9.85	151.50	13.00	59.25
第4学年	13.50	23.75	34.75	41.50	44.75	9.18	151.25	20.50	65.25	第4学年	13.00	26.00	36.50	38.00	29.00	9.35	139.50	12.50	55.00
第5学年	14.29	20.00	41.14	43.00	49.29	9.53	144.57	25.71	58.14	第5学年	15.40	21.20	42.60	37.00	36.60	9.28	147.80	15.60	60.20
第6学年	19.17	24.50	34.17	48.33	59.20	8.48	160.83	29.00	63.80	第6学年	16.60	23.50	39.40	43.00	37.00	9.13	139.50	17.60	61.25

県平均値かつ全国平均値未満

令和4年度新体カテストの結果（県平均値（平成31年度）・全国平均値（平成30年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	9.67	9.33	28.33	20.00	14.67	11.39	122.33	9.33	27.67	第1学年	9.63	13.13	31.38	20.25	11.13	12.31	107.63	4.88	36.75
第2学年	10.25	18.50	24.75	35.25	35.00	9.83	118.25	10.25	47.50	第2学年	9.00	13.88	29.50	30.38	17.38	11.24	107.13	7.75	44.88
第3学年	12.17	12.83	31.50	31.67	23.60	10.22	129.83	15.50	56.17	第3学年	13.00	15.75	36.25	33.00	30.50	9.85	151.50	13.00	59.25
第4学年	13.50	23.75	34.75	41.50	44.75	9.18	151.25	20.50	65.25	第4学年	13.00	26.00	36.50	38.00	29.00	9.35	139.50	12.50	55.00
第5学年	14.29	20.00	41.14	43.00	49.29	9.53	144.57	25.71	58.14	第5学年	15.40	21.20	42.60	37.00	36.60	9.28	147.80	15.60	60.20
第6学年	19.17	24.50	34.17	48.33	59.20	8.48	160.83	29.00	63.80	第6学年	16.60	23.50	39.40	43.00	37.00	9.13	139.50	17.60	61.25

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題

- 新体カテストの結果から、  
①反復横とび  
この項目を重点課題とする。

重点課題に対応した改善のための取組内容及び方法

- 「反復横跳び」に関する課題改善の取組として、  
①教科体育の準備運動に課題内容を反映する。  
②業間に「反復横とび」の取り組みを取り入れ、日常化を図る。  
③校舎内・教室内に運動コーナーを設ける。  
④長期休業を含めて、家庭でも可能な取組を工夫する。
- 成長の実感のための方法として、  
①個人目標を設定するとともに、定期的に測定し、児童自身が進捗を確認する。  
②個人内の伸びの見える化を図る。  
③取組の工夫や進捗等の情報を共有し、6月・10月・2月に検証をするとともに、その都度、指導方法の工夫改善を図り、児童の成長の実感につなげる。

令和5年度の目標値

- 「反復横とび」において、県平均を上回る児童の割合60%以上とする。
- 「反復横とび」において、県平均を下回る児童に対し、年間の伸び率が5ポイント以上となる児童の割合60%とする。